

# 図書館だより

No.51

令和5年1月号

【4・7・10・1月発行】

発行：入間市立図書館

本館 04-2964-2415

西武 04-2932-2411

金子 04-2936-1811

藤沢 04-2966-8080

図書館ホームページ <https://lib.city.irusa.saitama.jp>

## 図書館システムが新しくなりました！

図書館システム更新の臨時休館、年末年始休館で、利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。皆様のご協力のおかげで、令和5年1月5日（木）から図書館システムを新しくすることができました！システム更新に伴い、新しいサービスを開始します。ぜひご利用ください。

### ■Felica（フェリカ）やマイナンバーカードでの貸出

Felica（フェリカ）やマイナンバーカードで貸出ができるようになりました！

従来の利用者カードだけではなく、Felica やマイナンバーカードを登録していただくと、これらも利用者カードとしてご利用できます。登録したカード等を専用のカードリーダーにかざすだけで、本などを借りることができます。

#### ※マイナンバーカードのご利用にあたって

マイナンバーカードの IC チップ内に保存されている

「利用者証明用電子証明書（以下、電子証明書）」の発行番号を使用します。そのため、図書館システムから 12 桁のマイナンバー（個人番号）や個人情報へのアクセスは一切行いません。

電子証明書は、マイナンバーカード作成時に希望された方に発行されます。マイナンバーカードをお持ちでない場合や電子証明書の発行をされていない場合は、市役所で申請していただく必要があります。

#### ※Felica とは

非接触型 IC カードのための通信技術のひとつです。PASMO や Suica 等の交通系 IC カードや、おサイフケータイ機能がある携帯電話やスマートフォン等に搭載されています。



Felicaに対応したカード、スマートフォンも図書館利用券として使用できます  
※はじめて利用する際に図書館で登録が必要です



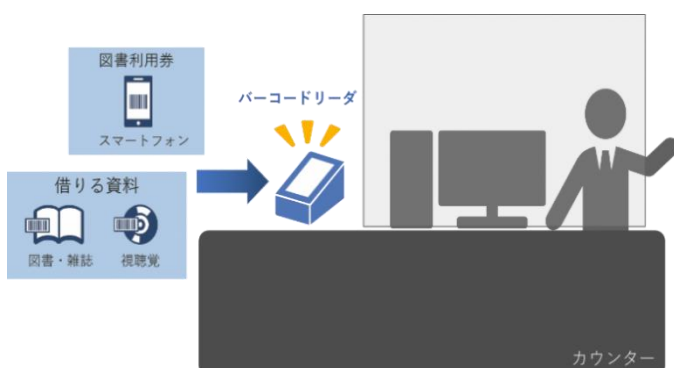
電車に乗るときに使う  
PASMO や Suica、スマホ  
でも貸出ができるんだ  
ね！

### ■セルフ貸出機の導入

セルフ貸出機を導入しました！

カウンターの一部に専用のバーコードリーダーを設置しました。これにより利用者ご自身で、利用者カードや資料の読み取りをして、本などを借りることができるようになりました。

従来通り、職員による貸出も行います。



## ■入間市立図書館公式 LINE アカウントの開設

入間市立図書館公式 LINE アカウントを開設しました！



ここから、LINE 登録ができます

入間市立図書館公式 LINE アカウントに友だち登録をすると、資料検索や開館カレンダー等を簡単に確認することができます。さらに利用者カードとアカウント連携していただくと、マイポータル機能がご利用いただけます。マイポータル機能とは、利用者カードのバーコード表示や貸出・予約中の資料の確認を行うことができるサービスのことです。



## ■図書館ホームページ

図書館ホームページが新しくなりました！

新システム導入に伴い、ログインできなかった方はホームページからパスワードの再設定をお願いします。

これからも様々な情報を発信していきますので、

入間市立図書館ホームページをぜひご覧ください。

入間市立図書館

🔍 検索

## CTI（自動音声応答システム）廃止のお知らせ

自動音声応答システム（04-2901-1231）により、電話や FAX で開館・予約・貸出状況などをお知らせしておりましたが、システム更新に伴い、廃止となりました。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

予約・貸出状況等は、図書館へ直接お問い合わせいただくか、ホームページ等でご確認ください。



## 読み聞かせボランティアグループの広場

図書館で活動している、読み聞かせボランティアグループの **どんぐり**（本館）・**かざぐるま**（西武分館）・**おはなし<sup>まどか</sup>円**（西武分館）・**茶の花**（金子分館）・**トトロ**（藤沢分館）です。  
各グループより、最新情報をお届けします。

**どんぐり** 人数制限がありましたが 3 年ぶりにおたのしみ会ができて良かったです。土、日曜日のおはなし会も少しずつ復活しています。早く平常のおたのしみ会ができて、みんなに会える機会が増えるといいなあと思っています。おはなし会があるときはぜひ来て下さい。お待ちしております。

**かざぐるま** コロナがあつて、お休みが長くありました。今度はやれると思っていたのに、年末のお休みがあつてなかなか読み聞かせができません。楽しく美しい絵本を子どもたちにみせてあげられなくて、とても残念です。今度は、新しく春のおはなしがたくさん図書館に届くでしょうから、それを見に来てくれたら、とてもうれしいです。お待ちしております。

**おはなし<sup>まどか</sup>円** 毎週第 1 土曜日、10 時 30 分から西武分館で活動しています。この前は「頭ヶ池」「三つのねがい」などのお話しをしました。集まる子どもたちが少ない時でも、よく聞いてくれていると話し手も聞き手も、とっても満足した気持ちになります。あー、お話しして良かった。

**茶の花** 今年も楽しいおはなし会をめざします♪いろいろなお話しや本に、出会いに来てね。  
お待ちしております♪



**トトロ** 今まで公民館 2 階の和室や洋室で行っていましたが、ようやく”おはなしコーナー”にて「おはなし会」ができるようになりました。密にならないようにしながら、楽しい読み聞かせができるのを心待ちにしていました。皆さん、ご協力よろしくお願いたします。

# 大人のためのBookガイド



令和4年9月から11月までに入間市立図書館に入った一般書の紹介です。



## 『不自然な死因 イギリス法医学者が見てきた死と人生』

リチャード・シェパード／著 長澤 あかね／訳 大和書房 <498.9/シ>

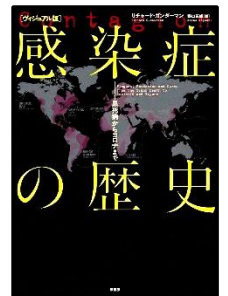
イギリスの法医学者である著者は、様々な事件や事故の検死・解剖に携わり、長年不審な死の調査を行ってきた人物です。本書では、著者が法医学者という職業を選択した経緯や、40年以上にわたる法医学者としての体験、そしてその間に法医学に関わる制度や社会がどのように変化していったのか等、著者のプライベートとともに綴られています。著者にとっては日常であった死の究明に関わる出来事は、多くの人にとっては非日常です。一人の法医学者の生き様を通して、普段目にする事のない世界を垣間みてみませんか？

## 『感染症の歴史 ヴィジュアル版 黒死病からコロナまで』

リチャード・ガンダーマン／著 野口 正雄／訳 原書房 <493.8/ガ>

黒死病、結核、コロナウィルス… 人類はこれまでたくさんの感染症と戦ってきました。本書ではそれらの感染症の特性や、その時の対処法について解説しています。また、数多く挿入されたカラー図版が理解を深め、感染症を一から「知る」ことができます。

そして最終章、ある哲学者の言葉を引用した「歴史を知る者は同じ過ちを避けることができる」という一文が、コロナ過を生きる私たちの行き先を照らす光のようにも感じられます。



## 『ノーベル化学賞に輝いた研究のすごいところをわかりやすく説明してみた』

山口 悟／著 ベレ出版 <430.4/ヤ>

「ノーベル化学賞」と聞くと、どんな研究内容で受賞したのか知っておきたいけれど、理解するのは難しそうですね。本書はそんな方に向けて、ノーベル化学賞に輝いた研究の具体的な内容と、それらがどのようなかたちで生活に役立っているのかを、わかりやすく説明しています。化学の基本から解説しているので、中学校の理科や高校の化学を忘れた方でも楽しめる内容となっています。

ノーベル化学賞を通して、化学の世界の考え方がどのようなものなのか、化学が生活にどう結びついているのか、知ることができる一冊です。



## 『男尊社会を生きていく昇進不安な女子たちへ』

下河辺 さやこ／著 主婦の友社 <366.38/シ>

著者は、人気女性雑誌の副編集長を歴任後、大学院にてMBAを取得、新規事業を立ち上げ、テレビ出演等で活躍している現役会社員です。

本書は、著者自らの体験と取材から、働く女性のリアルな現状とその本音に迫ります。仕事を愛し、昇進をのぞむ女性の気持ちに寄り添い、熱きメッセージと上手に生き抜くための術を授けてくれる指南書です。

性別や年齢に関わらず、仕事をされている方はもちろん、されていない方にもおすすめの本です。



他にも新着資料がたくさんあります。各館の新着コーナーをご覧ください！  
新刊だけでなく、寄贈いただいた資料なども並びます。





# こども向けブックガイド

れいわ ねん がつ がつ いる ましりつとしゃかん はい こ ほん しょうかい  
令和4年9月から11月までに入間市立図書館に入った子どもの本の紹介です。

## 『ことばとふたり』

ジョン・エガード/ぶん きたむら さとし/え・やく 岩波書店 《E/い3》

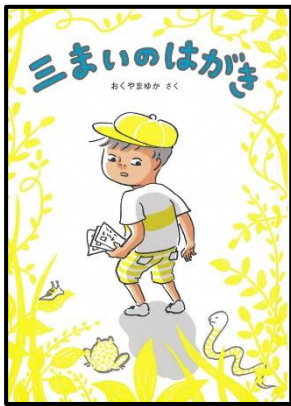
ことばを知らないもじゃもじゃけむくじらのいきもの  
ことばを知っているもじゃもじゃけむくじらのいきもの  
ことばを知らないいきものと、ことばを知っているいきものがあうことで二人の世界が  
大きく広がっていきます。ことばの在り方について、不思議ないきもののイラストと共に  
感情豊かな「ことば」たちでやさしく穏やかに物語が描かれていきます。  
子どもと一緒に読んだり、子どもがことばを話し始めたことを思い出したいときに読んでみ  
たりすることのできる心温まる絵本です。  
読めばきっと気持ちが和らぐことでしょう。



## 『三まいのはがき』

おくやま ゆか/さく 福音館書店 《913/おくや》

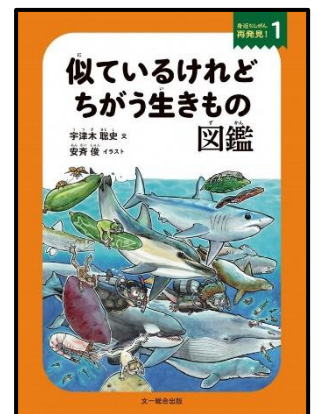
主人公のゆうたはやさしい子。ある日、ゆうたが家でたいくつしていると、三まいのは  
がきがとどきました。差出人のナメヨ、ガマコ、ニヨロミという名前に心当たりがないも  
のの、ゆうたはおもしろそうだと思い、三まいのはがきで指定された場所にそれぞれの  
場所へ行きました。三まいのはがきを出した子たちは、ゆうたにお礼がしたかったです。  
お礼の内容は、とてもきょうですが、ナメヨ、ガマコ、ニヨロミの気持ちがよく伝わ  
てきます。ちょっとふしぎな心の温まるおはなしです。  
あなたのところにも、三まいのはがきがとどくかも……。



## 『似ているけれどちがう生きもの図鑑』

宇津木 聡史/文 文一総合出版 《460》

世界にはたくさんの生きものがいますが、中には見た目がそっくりな生きものも多  
くいます。たとえば、スズメバチとアシナガバチ。アシナガバチは名前のとおり、足が長いこ  
とが特徴ですが、見た目はスズメバチとそっくりな黒と黄色のハチです。なぜ、違うハチな  
のに色が同じなのか、みなさんは考えたことがありますか？  
この本はそんな「似ているけれどちがう生きもの」に注目して「どこがちがうの？」か  
ら「なぜ似ているの？」までたくさんのイラストといっしょに学べる1冊になっています。  
ぜひ、くらべながら楽しく読んでほしい図鑑です。



## 『マスク越しのおはよう』

山本 悦子/著 講談社 《Y913/ヤマモ》

世の中は一変した…。誰もがマスクをつけて生活し、マスク着用が当たり前になっている。  
新型コロナウイルスによる非常事態宣言で休校後、再開した学校が舞台となっています。

家庭の事情やコンプレックスを抱える5人の中学生たちが、コロナの怖さや不安から迷走  
したり支えあったりと、コロナ禍で生き抜いていくさまが描かれています。

「自粛生活を強いられ、閉塞感や不合理への不満、不自由な制約の所為で新しい生活スタ  
イルの変更へと余儀なくされた」今では誰でも聞き覚えのあるフレーズはもちろん、コロナ  
環境による負荷に共感できる点が多々あると思います。

ティーンズ向け

